

- 進路指導を効果的に進める校内組織とその運営
- 発達段階に応じた学年別年間進路指導計画
- 進路指導における評価と追指導のあり方

エ 講 演

大学の改革と入試制度をめぐる諸問題

福島大学助教授 市川佳宏

(2) 進路指導講座

① 目 的

中学校および高等学校等の教員等に対して、進路指導に必要な専門的事項について講習を行い、もって中学校および高等学校における進路指導の充実を期する。

② 主 催 福島県教育委員会

③ 期日・会場

9月12日(火) 白河女子高校

9月14日(水) 福島中央高校

9月19日(火) 郡山女子高校

④ 参加者

ア 中 学 校 進路指導主事、進路指導担当者、学級担任

イ 高 校 ホームルーム担任、進路指導担当者

⑤ 参加者数

県南地区 中学校18名 高校17名 計 35名

県北地区 中学校47名 高校28名 計 75名

県中地区 中学校66名 高校36名 計 102名

⑥ 講習内容

ア 学級（ホームルーム）における進路指導

イ 学級（ホームルーム）担任が行う就職・進学指導・援助

⑦ 講 師

福島大学教授 佐藤利雄

会津短期大学教授 細谷宗司

県教育庁 義務教育課、高校教育課指導主事

県教育委員会、県小学校教育研究会
開催市町村教育委員会

② 研究主題

学校行事における児童の自主的な参加意欲を高めるための指導はどうしたらよいか

——学芸的行事について——

- 3年継続研究の第2年次にあたる。

③ 県研究協議会

○ 期 日 昭和52年10月4・5日

○ 会 場 双葉郡広野町立広野小学校

(2) 県中学校教育研究会特別活動部会

① 主 催

県教育委員会、県中学校教育研究会
開催市町村教育委員会

② 研究主題

望ましい集団活動を通して、自主性・自発性を育てる特別活動の指導は、どうあるべきか。

——学級指導・学級会活動のすすめ方——

- 3年継続研究の第1年次にあたる。

③ 県研究協議会

○ 期 日 昭和53年10月12日

○ 会 場 大沼郡本郷町立本郷中学校

〔高等学校教育課〕

1 卒 業 式

(1) 県立高等学校卒業生数

課程	性別		計
	男	女	
全 日 制	12,580	11,722	24,302
定 時 制	379	386	765
通 信 制	53	111	164
計	13,012	12,219	25,231

(2) 県立盲・聾・養護学校卒業生数

性 別	男	女	計
計	27	34	61

(3) 卒業式開催期日

月日	種別		
	県立高等学校	同 分 校	盲・聾・養護学校
3月1日	85	3	2
2日		4	
4日	1		
14日			1
計	86	7	3

第6節 特 別 活 動

〔義務教育課〕

1 昭和53年度指導の重点

新学習指導要領の趣旨の正しい理解のもとに、全教師が協力して、特別活動の全体計画及び各内容ごとの指導に改善を加え、地域や学校の実態、児童生徒の心身の発達段階や特性を考慮しながら、自発的・自治的な活動が助長されるよう、次の事項を重点として、指導の徹底を図る。

- (1) 望ましい集団活動をより充実したものとするため、指導計画を検討し、改善を図る。
- (2) 児童生徒が自主的、実践的活動ができるよう、指導の徹底を図る。
- (3) 各内容ごとに指導の重点をあげ、指導の充実を図る。

2 主な研修及び行事

(1) 県小学校教育研究会特別活動部会

① 主 催